

JCI Kanazawa

Action



金沢青年会議所とは

金沢青年会議所は「個人の修練、社会への奉仕、世界との友情」を活動の軸として、
英知と勇気と情熱をもって明るい豊かな社会の実現を目指し、
金沢のまちとそこで暮らす人々の将来のために活動しています。

成長 まちづくり 仲間

まちづくりへの気概あふれる金沢青年会議所には若手経営者を中心に、
多様な業種の青年経済人が集まっています。

異業種の仲間との交流で視野が広がるのはもちろん、仲間と想いをひとつにプロジェクトを成し遂げることで、
多くの気付きと学びを得ることができます。

金沢青年会議所の活動を通じて一人の人間として深く成長でき、
ビジネスパーソンとしても大きく飛躍します。

「まちづくり」という社会的活動により自己成長の機会と仲間との出会いを
ぜひ金沢青年会議所でつくっていきましょう。

真をつくる団体

私にとって金沢青年会議所は人生における背骨や信念、いわゆる「真」をつくれるところであると思っています。私は金沢青年会議所での活動を通して、金沢のまちづくりに対し様々な挑戦をさせていただきました。もちろん、活動のすべてが楽しいことばかりじゃなく、辛く大変なこともたくさんありました。しかし、だからこそ心から同志と思える仲間ができ、そのような仲間がいるからこそ、視野が広がりました。私にとってそれは「芯」となり、人生においての「真」を見つけることに繋がりました。

誰もひとりではまちづくりはできません。私も本当にたくさん的人に助けてもらったと思います。しかし、それは迷惑とは違うと考えています。たくさん挑戦してきたからこそ本当に多くの人に支えられてきたと感じています。そんな支えてくれる仲間がないなければ、ここまで様々なことにアクションを起こすことはできませんでした。そんな時間や経験、そして仲間の存在が私にとって大切でかけがえのないものとなっています。これから多くの仲間とともに金沢のまちのために挑戦を続けていきたいと思います。

そして、金沢青年会議所は70周年を迎えることとなりました。これは、私たちの先輩たちが金沢の未来を見据え、まちのために活動してきた軌跡です。私たちは70年もの長い間、先輩たちが積み重ねてきた功績に敬意を表するとともに、これから先を考えなければいけません。金沢の未来は「今、私たちが何をするのか」にかかっています。10年後、20年後、30年後の金沢の姿を想像し、強い信念をもって挑戦をし続ける必要があります。そのためにこの70周年の節目を大切にしていきたいと思っています。



公益社団法人金沢青年会議所
第70代理事長 林 泰三

挑戦の価値

青年会議所に所属して活動をしていると、自分の会社の仕事だけしていても出会えないような人たちとの出会いがあります。今では金沢だけでなく、日本中に、そして海外にも仲間がいて、ありがたいことにいつでも歓迎してくれます。これは、入会する前は想像もしていなかったことでし、私の大きな財産となりました。

そして、青年会議所活動によって、自分たちの住み暮らす街について考えるきっかけができ、金沢について学ぶことが増えました。このことは私にとって大切な機会となり、また金沢という街を誇れるきっかけにもなりました。

さらに、マネジメントの勉強になりました。青年会議所には多様な役職があり、多くの機会に触れることができます。その役職に応じて責任を果たしていくなければいけません。この経験は社業にも活かされています。チームを引っ張っていくリーダーシップを学ぶには最高の学校ではないでしょうか。そして小さな課題から大きな問題までを解決していく機会が多くあり、ここで身についた思考法や問題解決力はいまでも非常に役に立っています。

私が理事長の職をお預かりした2018年度の事業の中で「金沢おいしい工芸」がありました。実は日本で茶道具をすべて揃えられる地域は、もう金沢と京都しかないです。それだけ金沢には多種多様な工芸が根付いているということです。しかし、その伝統工芸も年々消費量は減っており、継承していくのが難しくなってきています。そのため、日頃私たちが慣れ親しんでいる地元企業と結びつけて、気軽に工芸に親しんでもらうというテーマで事業を実施しました。

このように、私たちは金沢の大切な文化を今のまちづくりにどう活かしていくか、金沢の唯一無二の魅力をどう次代へ継承していくかを日々考え行動し、挑戦してきました。

誰もがまちづくりに参画できる、これも金沢青年会議所の魅力のひとつだと思います。



株式会社 福光屋 専務取締役

公益社団法人金沢青年会議所

第66代理事長 福光 太一郎

信頼できる仲間の存在

私にとって青年会議所は成長できる刺激を与え合える仲間がたくさんでき、その仲間同士が真剣に地域のまちづくりやひどづくりについて考え取り組むことで、互いに人生の付加価値を生み出す関係になれる、そんな場所です。私は2016年度に入会をしましたが、本当に多くのメンバーと出会うことができ、その仲間と達成感も苦労もたくさん共有できました。だからこそ、今でも心から信頼できる仲間になりましたし、ビジネスではない、本当の仲間となりました。このことは社業に専念しているだけでは絶対に掴めなかったと心から思っています。また女性活躍という意味では、日本ではまだ男性メンバーのほうが多い青年会議所ですが、海外では女性メンバーがメインで活躍している国が多く存在しますし誰もが活躍できる社会を築くためには、多様性を受け入れる環境を作る必要があります。男女問わず、互いの個性を尊重し合いながら活躍できる雰囲気を金沢青年会議所を作りたいと思います。

株式会社アーバンホーム 取締役
2016年度入会
米田 早織

より良い社会への変化に貢献する

金沢青年会議所に入会しようと思ったのは、金沢でビジネスを更に展開するために、もっと人との繋がりを持った方がいいと感じていたためです。でも実際に入会すると、ビジネスの繋がり以上に何でも相談ができる大切な仲間との出会いがありました。そして自己成長の機会がたくさんありました。私は入会当初、自分よりで視野が狭かったと思います。でも視点の違う多くの方と信頼する多くの仲間と価値観を共有し、たくさんの挑戦をすることで、視野を広げることができたと感じています。また本気で活動を行なったからこそ、これまでの自分よりもできる範囲や量も随分増えました。そして金沢青年会議所は様々な事業を行います。私は2021年度にSDGs関連の委員長を拝命し、ダイバーシティ&インクルージョンの推進を行いました。最近のトレンドに常に挑戦している団体だからこそ、これから時代に必要な知識も学べるのだと感じています。私たちが行った事業により人の考え方や行動が変化することで、社会がより良く変わっていくことに貢献していることを実感しています。これは金沢青年会議所にいるからこそできると考えています。



株式会社ぶった農産 代表取締役専務
2018年度入会
佛田 和弥

成長は「視座」の変化

大学から東京に出て、就職して千葉で働いていたので、金沢に戻ってきた際に、地元で仕事をしていく上での様々な人脈が必要を感じていました。なので、人脈づくりぐらいの思いで、青年会議所の知識もなく入会したので、入会に関しての抵抗感はなかったです。しかし、実際に入会してみて、入会前の自分と今の自分ではやはり変化はありますし、成長も感じます。人々、業界のことや会社のことを中心に考えていましたが、青年会議所活動をやってみると、視野が広がり、見えるもの、見ようと思うものが変化してきたと思います。委員長を受ける際にも、自分は積極的に役を受けるような性格ではなかったのですが、多くのリーダーの下で活動してみて、「カッコいいな。自分もあんな風になってみたいな。」と思うようになり、自分も受けてみよう、そんな心の変化があったのも金沢青年会議所があったからだと感じます。リーダーを見ていく中でリーダー像をより考えるようになり、同時にフォローワーシップも学ぶ機会に繋がったことはとても大きな成長の機会になっています。

高田産業株式会社 取締役
2018年度入会
高田 修平

出会いからの自己成長

社会人になってからずっと同じ会社で働いており、新しいことに色々チャレンジしてみたい!と思い社長と上司の後押しもあって入会を決意しました。周りは経営者の方が多いですが、私のような従業員の方も実はたくさんいて、大変なことも多いですが、社業と両立しながらがんばることはできます。だからこそたくさんの業種の方に出会えるし、事業を通して自身のスキルアップにも繋がります。大好きな金沢に貢献できるところも魅力的です。金沢青年会議所に入会して、今まで身近な狭い範囲にしか興味や知識がなかったんだと知ることができました。SDGsをはじめ日本や世界が抱える課題を知ることができ、学んだことを会社に持ち帰り、社業に置きかえて解決していくことで会社の発展や地域貢献につながっていくんだということがわかりました。また事業を通して大学教授や有名会社の社長、工芸作家さんなど普段会えない方とお話しできるところも貴重な経験でしたし、今の自分の成長に大きく影響しているなど感じます。



株式会社ミュージッククラブ 部長代理
2019年度入会
玉川 陽子

Check!

その他メンバーのインタビューはこちら



Check!



これまで金沢青年会議所が
行ってきた事業はこちら

金沢青年会議所の実施してきた事業

『子どもたちの可能性を生み出す未来事業』

EDUCATION



新型コロナウイルス感染症の拡大により、教育のあり方が大きく変わってしまいました。その中で、オンライン・リアルの両面から学校では学ぶことのできない様々な学びの機会を提供しました。オンライン教育ではWEB配信用の教育動画サイトをつくり様々な分野の教育動画を展開しました。例えば自分を守る意識を高める教育として防災教育、情報モラル教育もテーマにしました。そして、この事業は世界にある青年会議所のうち、アジア・太平洋地域の優秀事業に表彰され、世界各地においても横展開が期待される事業となりました。

『IKI – あなたの「粹」 金沢工芸』

CULTURE



九谷焼はお皿を代表するような従来までの形で表現せずに、消毒スプレーに施し工芸を表現をする。このように現代のニーズと工芸を合わせ発信をした事業が IKI プロジェクトです。『工芸』は金沢のまちにおける文化のひとつです。しかしながら、工芸はこれまで長い間変わらなかったわけではなく、時代の変化と共にそのあり方も変わってきました。工芸の根底にあるのは「長年培われた、素材に対する独自の技法」です。つまり今の時代に求められる工芸の力を表していくことが必要となり、工芸作家と消費者をつなげ、消費者の欲しい工芸作品を作ることで新たな経済の仕組みを構築した事業が IKI プロジェクトです。AirPods には加賀蒔絵を施し、加賀象嵌でネームプレートを作るなど、伝統文化が現代の社会にどう溶け込ませることで時代に息づくかを事業として行いました。

『KANAZAWA MIRAI SUMMIT 2021』

GLOBAL



2015年にJCI世界会議が金沢の地にて開催され、その後5年間金沢会議という国際会議が開催されました。JCI金沢会議は2020年に完結となりましたが、金沢青年会議所ではその後も金沢のまちづくりに国際的な視点を取り入れるため、『KANAZAWA MIRAI SUMMIT 2021』という国際会議を実施しました。本事業では、持続可能な開発目標「SDGs」の中でも日本では達成が難しいと評価されるものをメインテーマとして実施しました。また近年注目を集める、LGBTQ やカーボンニュートラル、また IT 人材を育成する IT 教育などをテーマにして1週間もの間、50を超えるファンクションを行い、市民と共にまちづくりを考える取り組みを行いました。総合監修には夫馬賢治氏、多様性フォーラムでは、台湾デジタル担当大臣であるオードリー・タン氏もゲストに迎え、様々な講師と共に、私たち市民が何を行わないといけないかという『ONE ACTION』を考える事業となりました。



よくあるご質問

Q. 入会や活動に必要な費用はいくらですか

入会金として 55,000 円と会費 90,000 円（半年分）が必要となります。また、青年会議所には全国大会や世界会議など各種大会があり、その大会に参加するメンバーは登録料が必要となります。

Q. メンバーは何名程度いますか

金沢青年会議所はメンバー総数 188 名（2021 年 11 月現在）であり、建設・建築、不動産、旅行、金融、飲食、印刷、製造・販売、政治家、弁護士、税理士、医師をはじめとした様々な青年経済人で構成されています。女性会員も約 10% の割合で活躍しています。また会員は経営者だけでなく一般社員の会員も在籍して活躍しています。

Q. 入会のための資格はありますか

青年会議所には満 20 歳から満 40 歳未満までの間の方で、金沢市もしくはその近郊に住居または事業所を持つ方に入会資格があります。また入会にあたり、推薦者が必要となり、またその後入会審査を通過すると入会することができます。
金沢青年会議所にお知り合いがない場合は金沢青年会議所までお気軽にお問い合わせください。

Q. どのような活動がありますか

金沢青年会議所には大きく分けて 2 つの活動があります。1 つ目は『例会』です。例会は月に 1 度、全メンバーが参加して組織の方向性を確認し、事業の進捗報告などを確認するものです。2 つ目に『委員会』があります。金沢青年会議所にはそれぞれの専門知識を持ったいくつもの委員会が複数あり、委員会を月に一度開催し、打合せを行います。

Q. 社業と青年会議所活動は両立できますか

多くのメンバーが社業と青年会議所活動を両立して行っています。また、社業との両立を図りながら青年会議所活動をしているため、限られた時間を使ふためのマネジメントを学ぶ機会にもなっています。よりマネジメントを強化したい方や苦手な方にも金沢青年会議所への入会をお勧めします。

Q. どのような方が青年会議所にいますか

麻生太郎（元内閣総理大臣）／岩波雄二郎（岩波書店会長）／小泉純一郎（元内閣総理大臣）／ジョン・F・ケネディ（元アメリカ合衆国大統領）／鳥井信一郎（元サンタリーニ会長）／ビル・クリントン（元アメリカ合衆国大統領）／ビル・ゲイツ（マイクロソフト創業者）／森喜朗（元内閣総理大臣）／山野之義（金沢市長）
(敬称略・五十音順)



JCI Junior Chamber International Kanazawa

公益社団法人 金沢青年会議所

〒920-0865 石川県金沢市長町1丁目1-58
TEL 076-232-3027 FAX 076-232-3026

金沢青年会議所 

<https://www.kanazawa-jc.or.jp/>

